

## 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準 (必修・選択・自由科目別の必要単位修得数及び取得可能学位)

### 1. 大学

学習の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準（必修・選択・自由科目別の必要単位修得数及び取得可能学位）

#### (1) 学位授与の方針

実践女子大学は、学修から得た知識・技能・態度を社会に還元するべく実践し、世界と地域で貢献する力を得ることを求めます。その達成のために、以下に掲げる態度を核として能力を身につけ、所定の単位を修得した者に「学士」の学位を授与します。

<態度>

多様性を受容し、多角的な視点を以って世界に臨む態度【国際的視野】

- ①多様な価値観を持つ国内外の人々との交流を通して、相互の理解と協力を築こうとする態度。
- ②国際感覚を身につけて、世界に踏み出し社会を動かそうとする態度。
- ③日本の文化・精神を知り、世界に発信しようとする態度。

知を求め、心の美を育む態度【美の探究】

- ①人文・社会・自然の中に価値を見出し、感受性を深めようとする態度。
- ②物事の真理を探究することによって、新たな知を創造しようとする態度。
- ③優しさと強さを兼ね備え、倫理観を以って人格を陶冶しようとする態度。

<能力>

学修を通して自己成長する力【研鑽力】

- ①学ぶ愉しみを知り、生涯にわたり知を探究し、学問を続けることができる。
- ②学修成果を実感して、自信を創出することができる。
- ③広い視野と深い洞察力を身につけ、本質を見抜くことができる。

課題解決のために主体的に行動する力【行動力】

- ①現状を正しく把握し、課題を発見できる。
- ②目標を設定して、計画を立案・実行できる。
- ③プロセスや成果を正しく評価し、問題解決につなげることができる。

相互を活かして自らの役割を果たす力【協働力】

- ①自己や他者の役割を理解し、互いに協力して物事を進めることができる。
- ②互いを尊重し信頼を醸成して、豊かな人間関係を構築することができる。
- ③状況に応じたリーダーシップを発揮することができる。

#### 【文学部】

文学部では、全学ディプロマ・ポリシーとして求める内容を含め、言語・文芸・芸術の分野を中心としつつ、表現の観点からは、表現の構造や生成の論理の認識とその実践的技能を獲得し、表現の歴史探究の観点からは、時代の中の特質や創造、展開、変遷の論理等を解明し、表現主体や思潮の観点からは個人の思考や共同社会の思潮の現れを探究します。哲学や宗教等と共に、隣接する文化諸科学、人文諸科学、社会諸科学、思考の諸科学等の幅広い教養を取り込み、現代を生きる個人として、社会と諸環境との望ましいあり方に向けて、責任ある自立した関わりをもてるよう基礎的な素養を修得し、各学科の専門的知識とそれを活用できる技能を身につけ、各学科の所定の単位を修得した者に、「学士（文学）」の学位を授与します。

#### 【生活科学部】

生活科学部では、全学ディプロマ・ポリシーとして求める内容を含め、自然科学、社会科学、人文科学分野の広い教養を土台として、生活を科学的にとらえるための基礎的知識を修得し、各学科の専門的知識と技術を身につけ、社会に貢献できる力を得て、各学科・専攻の所定の単位を修得した者に、「学士（生活科学）」の学位を授与します。

#### 【人間社会学部】

人間社会学部は、「人を知り、社会を知り、ビジネスを学ぶ」をモットーに、グローバルゼー

ションや情報化が進展し、多様化・複雑化・成熟化する21世紀社会において活躍できる女性の育成をめざしています。

そのため、人間社会学部では、全学ディプロマ・ポリシーとして求める内容を含め、以下に掲げる態度と能力を身につけ、所定の単位を修得した者に「学士（人間社会）」の学位を授与します。

<態度>

多様性を受容し、多角的な視点をもって世界に臨む態度【国際的視野】

知を求め、心の美を育む態度【美の探究】

<能力>

学修を通して自己成長する力【研鑽力】

課題解決のために主体的に行動する力【行動力】

相互を活かして自らの役割を果たす力【協働力】

## (2) 卒業の要件

本学を卒業するためには、4年以上在学し、下記に定める単位数を修得しなければならない。

表1：実践女子大学卒業要件一覧

	共通科目				専門科目				選択自由	合計
	必修	選必	選択	合計	必修	選必	選択	合計		
文学部										
国文学科	8	—	20	28	36	34	—	70	20	124
英文学科	7	4	17	28	36	8	32	76	20	124
美学美術史学科	8	—	20	28	22	24	30	76	20	124
生活科学部										
食生活科学科 管理栄養士専攻	8	4	8	20	86	2	12	100	4	124
食生活科学科 食物科学専攻	8	4	16	28	51	2	23	76	20	124
食生活科学科 健康栄養専攻	8	4	12	24	62	—	28	90	10	124
生活環境学科	7	3	18	28	10	32	34	76	20	124
生活文化学科 生活心理専攻	8	—	16	24	64	12	14	90	10	124
生活文化学科 幼児保育専攻	8	—	12	20	36	—	50	86	18	124
現代生活学科	7	—	29	36	30	14	32	76	12	124
人間社会学部										
人間社会学科	7	3	18	28	40	26	10	76	20	124
現代社会学科	7	3	18	28	40	26	10	76	20	124

※共通科目 必修

「実践入門セミナー」「実践キャリアプランニング」「Integrated English」各2単位、

「情報リテラシー基礎a」「情報リテラシー基礎b」各1単位

\*必修7単位の学科：「情報リテラシー」は「情報リテラシー基礎a」のみ必修

## (3) 成績の評価

成績評価は次のとおりとする。

表2：実践女子大学成績評価一覧

表記	点数基準	可否	G P
+A	100点～91点	合格	4
A	90点～80点	合格	3
B	79点～70点	合格	2
C	69点～60点	合格	1
D	59点以下	不合格	0
○	合格	合格	—
認	単位認定	合格	—

#### (4) 卒業の認定・学位

- ・大学に4年以上在学し、学則に定める授業科目及び単位を修得した者は、教授会の議を経て、学長により卒業が認定される。
- ・卒業が認定された者には、下記のとおり学位が授与される。

表3：実践女子大学で取得できる学位の種類及び分野

学部	学科	学位の種類及び分野
文学部	国文学科 英文学科 美学美術史学科	学士（文学）
生活科学部	食生活科学科管理栄養士専攻 食生活科学科食物科学専攻 食生活科学科健康栄養専攻 生活環境学科 生活文化学科生活心理専攻 生活文化学科幼児保育専攻 現代生活学科	学士（生活科学）
人間社会学部	人間社会学科 現代社会学科	学士（人間社会学）

## 2. 短期大学

学習の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準（必修・選択・自由科目別の必要単位修得数及び取得可能学位）

### (1) 学位授与の方針

実践女子大学短期大学部は、学修から得た知識・技能・態度を社会に還元するべく実践し、世界と地域で貢献する力を得ることを求めます。その達成のために、以下に掲げる態度を核として能力を身につけ、所定の単位を修得した者に「短期大学士」の学位を授与します。

<態度>

多様性を受容し、多角的な視点を以って世界に臨む態度【国際的視野】

- ① 多様な価値観を持つ国内外の人々との交流を通して、相互の理解と協力を築こうとする態度。
- ② 国際感覚を身につけて、世界に踏み出し社会を動かそうとする態度。
- ③ 日本の文化・精神を知り、世界に発信しようとする態度。

知を求め、心の美を育む態度【美の探究】

- ① 人文・社会・自然の中に価値を見出し、感受性を深めようとする態度。
- ② 物事の真理を探究することによって、新たな知を創造しようとする態度。
- ③ 優しさと強さを兼ね備え、倫理観を以って人格を陶冶しようとする態度。

<能力>

学修を通して自己成長する力【研鑽力】

- ① 学ぶ愉しみを知り、生涯にわたり知を探究し、学問を続けることができる。
- ② 学修成果を実感して、自信を創出することができる。
- ③ 広い視野と深い洞察力を身につけ、本質を見抜くことができる。

課題解決のために主体的に行動する力【行動力】

- ① 現状を正しく把握し、課題を発見できる。
- ② 目標を設定して、計画を立案・実行できる。
- ③ プロセスや成果を正しく評価し、問題解決につなげることができる。

相互を活かして自らの役割を果たす力【協働力】

- ① 自己や他者の役割を理解し、互いに協力して物事を進めることができる。
- ② 互いを尊重し信頼を醸成して、豊かな人間関係を構築することができる。
- ③ 状況に応じたリーダーシップを発揮することができる。

## (2) 卒業の要件

本学を卒業するためには、2年以上在学し、下記に定める単位数を修得しなければならない。

表4：実践女子大学短期大学部卒業要件一覧

	共通教育科目			専門教育科目				合計
	必修	選択	計	必修	選必	選択	計	
日本語コミュニケーション学科								
情報スキルコース	8	10	18	20	—	26	46	64
コミュニケーションスキルコース	8	10	18	21	—	25	46	64
出版編集コース	8	10	18	21	—	25	46	64
英語コミュニケーション学科								
観光ビジネスコース	8	10	18	16	2	26	44	62
国際コミュニケーションコース	8	10	18	16	2	26	44	62

※共通科目 必修

「実践入門セミナー」「実践キャリアプランニング」「インテグレートッド・イングリッシュ」各2単位、「日本語表現法a」「情報リテラシー1a」1単位

## (3) 成績の評価

成績評価は次のとおりとする。

表5：実践女子大学短期大学部成績評価一覧

表記	点数基準	合否	G P
+A	100点～91点	合格	4
A	90点～80点	合格	3
B	79点～70点	合格	2
C	69点～60点	合格	1
D	59点以下	不合格	0
○	合格	合格	—
認	単位認定	合格	—

## (3) 成績の評価

## (4) 卒業の認定・学位

・大学に2年以上在学し、学則に定める授業科目及び単位を修得した者は、教授会の議を経て、学長により卒業が認定される。

・卒業が認定された者には、下記のとおり学位が授与される。

表6：実践女子大学短期大学部で取得できる学位の種類及び分野

学 科	学位の種類及び分野
日本語コミュニケーション学科	短期大学士（日本語コミュニケーション学）
英語コミュニケーション学科	短期大学士（英語コミュニケーション学）